

竹馬会情報紙

ホームページアドレス
<http://chikubakai.com>

はずみ

CHIKUBAKAI



竹馬会キャラクター
なべムシ君



2月6日(日)にどんだの組立てをしました。今年には佐知修治さんが数週間に亘って自宅近くの竹を切って軽トラ4、5台分の量を現場に運んでくれたいたので、組立ては22人で1時間半で終わりました。

どんだ焼き

どんだ焼き当日の13日は前日からの雨が降り続き、実施が心配されましたが、お昼頃には上がり、予定通り2時半の祝詞の後、どんだに火が入りました。今年も新型コロナの影響で餅やカップ酒の提供はできませんでしたが、多くの方が集まってくれました。一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、元の生活ができる事を祈ります。



ひまわり畑耕起

夏を楽しませてくれた満開のひまわりが、今年は冬も楽しませてくれました。お正月に切り花で飾ったひまわりも数週間見ることが出来ました。そのひまわりも冬の寒さの中、殆ど枯れてしまいました。2月11日に黒沢憲次さんが耕してくれました。



どんだ焼きの翌日14日の9時から片付けをしました。一晩経って僅かに火は残って煙が出ていましたが、竹類は殆ど燃えており、残った金物はバケツ一杯程ありました。

草刈り機が当たり
作業中の男性死亡
豊後高田市
4日午前7時半ごろ、豊後高田市森の民家跡の空き地で、同市白野、市シルバ一人材センター作業員成重俊則さん(71)の左太ももに、一緒に作業をしていた作業員の草刈り機の刃が当たった。成重さんは外傷性出血で約1時間20分後に死亡した。
豊後高田署によると、同センターから派遣された作業員4人で草刈り作業に当たっていた。事故に至った状況を調べている。

今後の予定

■竹馬会総会 (未定)
新型コロナウイルスの感染拡大のため2年続けて総会を開催することができませんでした。第6派も減少傾向にあり、大分県のまん防止等重点措置は解除されましたがまだまだ予断を許しません。竹馬会の総会については、今後の状況を見ながら開催に向けて検討したいと思います。

令和4年2月6日の大分合同新聞にこんな記事がありました。これから暖くなると草刈り作業が多くなります。様々な事故はちょっとした気の緩み、これくらいは大丈夫だろうということで起きます。特に草刈りは隣の人とは十分な距離を取り、常に注意を払いましょう！